

おでん専門店「ODD (オッド)」

大阪市北区大深町 1-1 LINKS UMEDA B1F「オイシイもの横丁」内

- 施 主：株式会社 エスクリ
- デ ザ イ ン：株式会社 ザホールデザイン
- 施 工：株式会社 渋谷



店名ロゴサイン / H300×W1170mm ベース:SUS 10t シャンパンゴールド塗装
店名「ODD」をおでん串に見立てたロゴ。塗装により視認性が向上している。



オイシイもの横丁に既設されている看板。同店の業態を示す絵柄が描かれている。



暖簾 / H550×W4620mm 生地:生成りブッチャー染抜き(防災)
暖簾は、プロジェクターで投影したデザインを鉛筆でトレースし、水性塗料にて着彩。朱色の店名「オッド」は、ステンシル(型を使用して文字や図、模様を施す技法)でスタンプを作成した。

英字やイラストを逃れた
西洋スタイルのおでん屋

ブライダル事業を軸に、レストランサービス・ワイン卸売事業などを展開する(株)エスクリは、8月26日、大阪・北区のヨドバシカメラ梅田地階1階のオイシイもの横丁に、「新感覚 ODENのお店 ODD (オッド)」を開業した。

出汁が染み込んだ食材にオリーブオイルまどわせ、日本酒やワインで楽しんでもらうことをコンセプトとした店舗で、ファサードには、手書き風の暖簾を設置。横丁のにぎやかしとなるよ

うに、料理のイラストや店舗ロゴが描かれている。

店名の「ODD」は、英語で“奇妙な”を意味しており、ロゴとしての使いやすさ、呼びやすさから採用。そのままの意味ではなく、おでんに似た文字そのもののビジュアルを重視した。店名サインにもロゴを反映しており、素材はSUSで、色は視認性の高いシャンパンゴールドで塗装した。

ファサード・サインのデザインは、これまで同社の式場のほか、ホテルやレストラン、バーなどの空間デザインを手掛けてきた(株)ザホールデザインの代表・杉山敦彦氏が担当。

同氏は「ロゴについては、思わず足

を止めて見てしまうような魅力的なデザインを追求した。新感覚 ODEN のコンセプトに合わせ、細かな部分に曲線を使い、洗練さを表現しながらも楽しめる印象に仕上げた」と話す。

店舗デザインについては「外国人が想像する日本のおでん屋のイメージを逆輸入し、横丁内にありながら、ニューヨークにいるような雰囲気を味わえるデザインにした。店内の壁には、英文字やイラストを書き込むなど、洋風のテイストを盛り込んでおり、女性でも入りやすい店舗を目指した」と語る。

今後も料理の改良を重ねるとともに、多店舗展開も視野に入れていきたいという。



海外から進出した店舗のように感じてもらうために、壁面には英文字やイラストが書き込まれている。



樹齢100年以上のチーク材を使用したカウンターテーブル。木材は、同社のグループ会社である㈱渋谷が運営している「古材銀行」から取り寄せた。本物の素材を使用することで、「ODD」の考える食材へのこだわりを感じられるようにしているという。（古材銀行：<http://www.kozai-bank.com>）



日本酒を注ぐ升とワインのグラスで、和と洋が入り交じった空間を演出している。